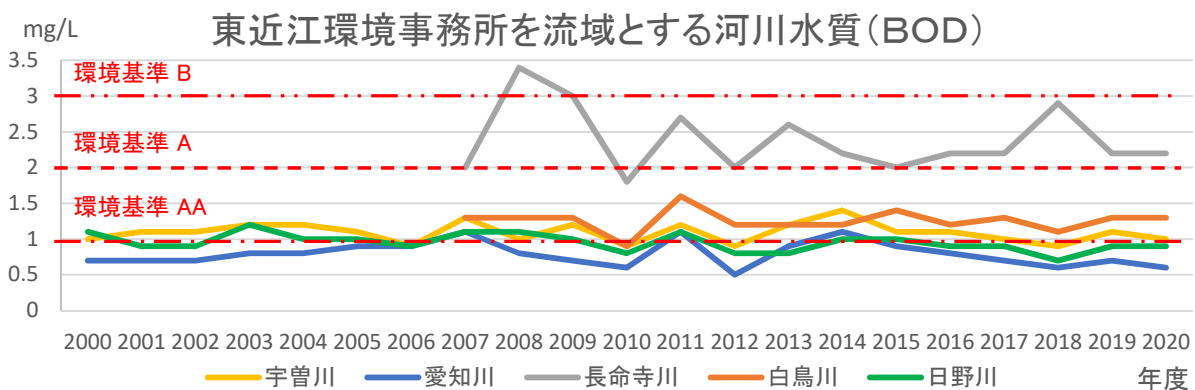
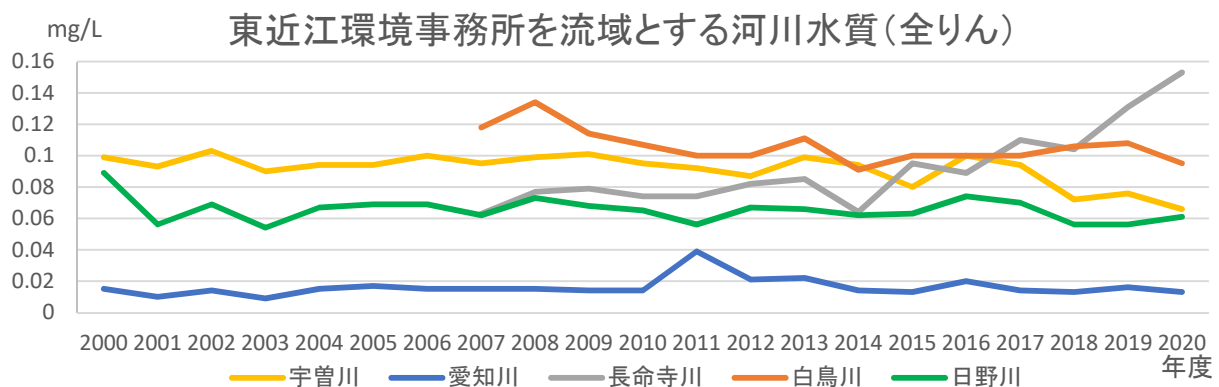
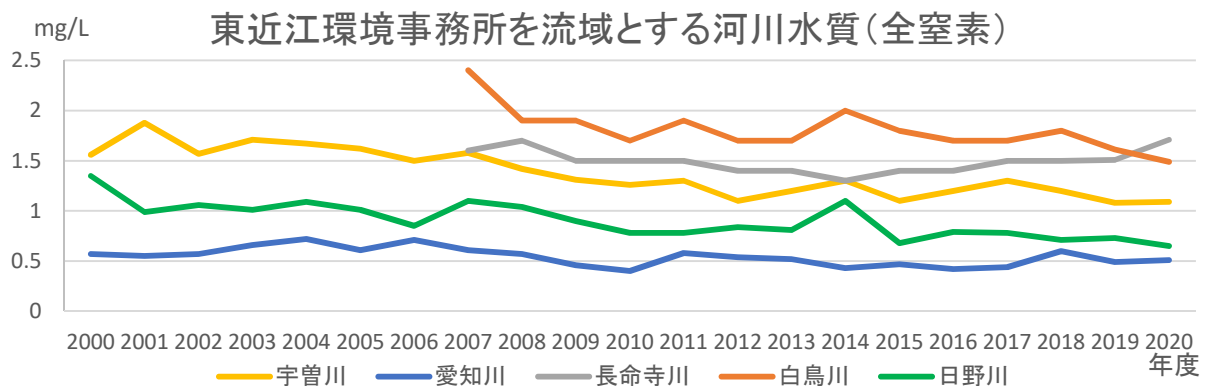


2. 水質状況(河川水質の経年変化)



宇曾川(B) : 唐崎橋
愛知川(AA) : 栗見橋
長命寺川(-) : 白王橋
白鳥川(-) : 高坐橋
日野川(A) : 野村橋

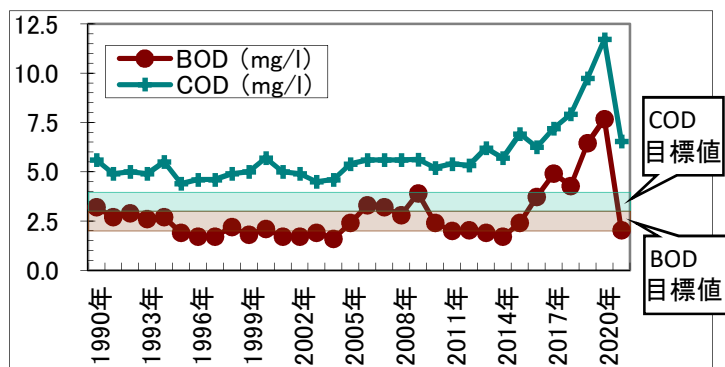
※環境基準は
AA類型 (BOD 1mg/L)
A類型 (BOD 2mg/L)
B類型 (BOD 3mg/L)



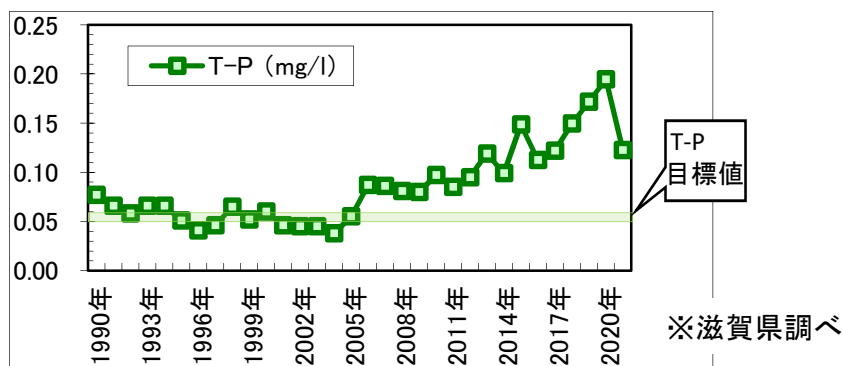
- BODは、最も厳しい環境基準値が設定された愛知川で、2000年度以降に3回超過したほかは、いずれも基準達成。いずれの河川も概ね横ばいで推移。長命寺川が他の河川よりも高濃度で推移。
- 全窒素は、横ばい、もしくは緩やかに減少傾向。
- 全りんは、長命寺川で近年上昇傾向。その他の河川では、横ばい傾向。

2. 水質状況(西の湖水質の経年変化)

中央最深の水質(COD,BOD)



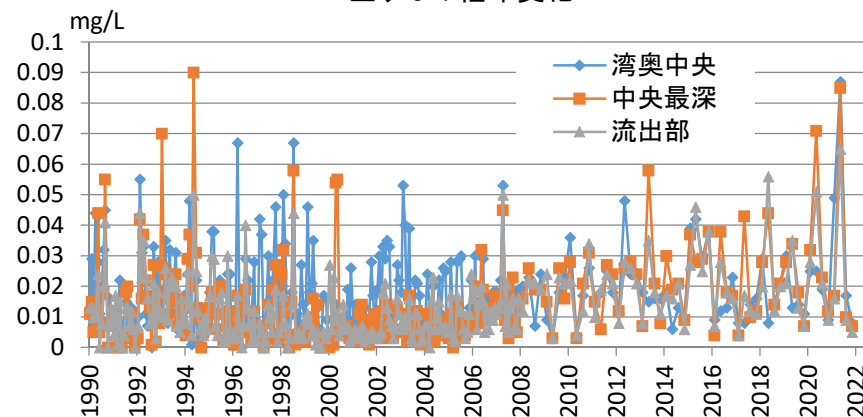
中央最深の水質(T-P)



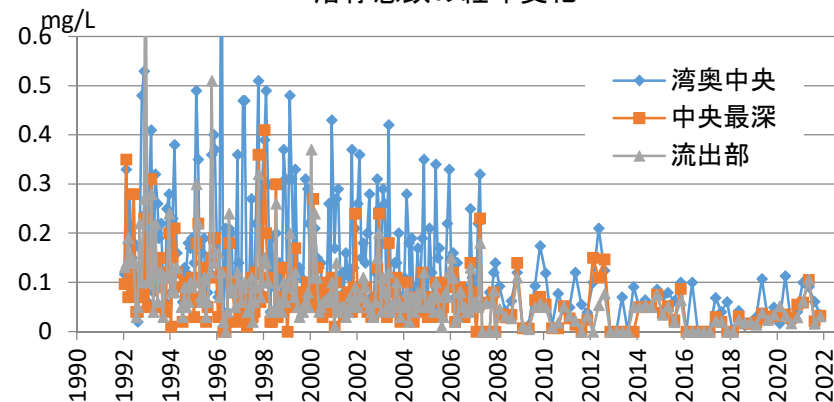
- 西の湖の水質(COD、BOD、T-P)は、近年上昇傾向を示している。
- 2020年度はいずれも濃度低下したが、5月、8月の調査前の降雨の影響を受けたと考えられる。
- 底泥悪化の影響を受ける全りん(T-P)と溶存態鉄が、2008年度頃を境に挙動が変化しており、引き続き水質を注視する必要がある。



全りんの経年変化



溶存態鉄の経年変化



※滋賀県調べ